

学校名／報告者	小正小学校／S・K	活用項目	情報モラル	小1	2022/7/27
具体的活用例	情報モラル教育				

ＩＤやパスワードの役割に気付く

- ・SKYMENU Cloudの発表ノートで家のイラストを配付する。
- ・パスワードと同じ役割をしていると思う場所に○をつけさせる。
- ・○をつけた発表ノートを回収し、グループで話し合う。
- ・話し合いの中で、パスワードと鍵が同じ役割であることを学ぶ。
- ・家の鍵が盗まれるとどうなるか、スライドショーを見て考える。
- ・ＩＤやパスワードはインターネット上の名前・鍵であることを知り、扱い方について考える。
- ・家庭にワークシートを持ち帰り、家庭と学習内容を共有する。



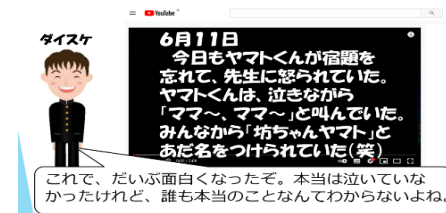
★★★ 成 果 ★★★

「鍵」や「名前」といった児童になじみのある事柄に例えたことで、低学年児童に理解しやすく、実感をもって理解できた。ワークシートの記述には、ＩＤやパスワードの重要性を知り、安全に気を付けてタブレットＰＣを管理したいという趣旨の記述が見られた。低学年児童でも、情報モラルの抽象的な指導内容を自己の経験から想像し、実感を伴って理解できた。（Ｒ３ 学校視聴覚教育部会推進委員）

学校名／報告者	稲沢西中学校/H・Y	活用項目	情報モラル	中1
具体的活用例	情報モラル教育			

権利を大切にしながら情報機器を利用する

- ・文部科学省の動画教材『著作物を公開するためには』を視聴する。
- ・著作権が法律で守られている理由を話し合う。
- ・YouTubeの投稿を想定し、著作権法違反や名誉毀損になるような具体的な場面を提示し、問題点に気付く。
- ・インターネットを利用した情報収集及び情報発信のメリット・デメリットを話し合い、手軽に世界中の人と即座につながる反面、トラブルに巻きこまれやすいというデメリットがあることに気付く。
- ・家庭にワークシートを持ち帰り、家庭と学習内容を共有する。



★★★ 成 果 ★★★

著作権などの情報モラルに関する法律について理解を深めることができました。また、容易に情報発信ができるからこそ、情報の真偽を見極め、インターネット上にあふれている情報を正しく取り扱う必要があることについても理解させることができました。法律で決まっているからということだけでなく、悲しむ人がいないようにするためにも情報モラルを守ることが重要だと考えさせることができました。

(R3 学校視聴覚教育部会推進委員)